

(様式第1号)

平成30年度 第1回芦屋市社会教育委員の会議 会議録

日 時	平成30年5月29日(火) 午後3時00分～5時00分
場 所	北館4階 教育委員会室
出席者	議長 今西 幸蔵 委員 野村 克彦 委員 渡辺 史恵 委員 井原 一久 委員 山崎 万里 委員 今村 一美 委員 亀田 吉信 教育長 福岡 憲助
欠席者	副議長 押谷 由夫
事務局	社会教育部長 田中 徹 生涯学習課長 茶嶋 奈美 生涯学習課管理係長 小山 慶子 生涯学習課管理係 桂樹 良子
会議の公表	<input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開 会議の冒頭に諮り、出席者7人中7人の賛成多数により決定した。  <非公開・一部公開とした場合の理由> 公募提案型補助金制度の審議について、公平公正な意見を求める必要があるため、一部公開とする。
傍聴者数	0人

1 会議次第

- (1) 開会あいさつ
- (2) 委嘱状及び任命書交付
- (3) 教育長あいさつ
- (4) 委員の紹介
- (5) 議長、副議長の選出 議長1名・副議長1名
- (6) 議題
  - ア 阪神南地区社会教育委員協議会役員選出 副会長1名・監事1名
  - イ 社会教育関係団体補助金について

ウ 社会教育関係団体公募提案型補助金の審査について

エ 今後の日程について

(7) その他

## 2 提出資料

- (1) 【資料1】 芦屋市社会教育委員及び社会教育部職員の名簿
- (2) 【資料2】 芦屋市社会教育委員に関する条例
- (3) 【資料3】 芦屋市社会教育委員会議規則
- (4) 【資料4】 芦屋市附属機関等の設置等に関する指針
- (5) 【資料5】 平成30年度交付団体及び交付予定額
- (6) 【資料6】 団体補助金についての当面の取り扱い方針
- (7) 【資料7】 芦屋市社会教育関係団体公募提案型補助金交付要綱（案）
- (8) 【資料8】 芦屋市社会教育関係団体公募提案型補助金交付対象事業の後期募集要項
- (9) 【資料9】 平成30年度 芦屋市社会教育関係団体公募提案型補助金 実施スケジュール（案）
- (10) 【資料10】 平成29年度 公募提案型補助金交付決定団体及び実施報告
- (11) 【資料11】 平成29年度 芦屋市社会教育委員の会議 日程一覧表（案）
- (12) 【資料12】 平成29年度芦屋市社会教育委員の会議，阪神南地区社会教育委員協議会，及び兵庫県社会教育委員協議会 会議等日程（予定）

## 3 審議内容

<今西議長>

議題（1）の阪神南地区社会教育委員協議会役員の選出について，事務局から説明をお願いします。

<事務局：小山>

【事務局から説明】

<今西議長>

阪神南地区社会教育委員協議会の副会長及び監事については，副会長を議長である私が，監事を押谷副議長が勤めさせていただくということによろしいでしょうか。

—異議なし—

<今西議長>

それでは引き続き，議題2の「社会教育関係団体の補助金について」事務局から説明をお願いします。

<事務局：小山>

【資料をもとに説明】

<事務局：小山>

昨年度の会議において、この議題についてお話しいただいた際に、井原委員より、コミスクとスポーツクラブ21の運営が重複しているという実態があることから、今後2つの財布を一緒にするようなことを検討してはどうかというご提案をいただいております。その際、事務局から「今後検討します」とお答えしておりました。そのことに関して、この場で回答させていただきます。もともと、スポーツクラブ21はスポーツを通したコミュニティづくりを進めるために県からの助成金を基に活動しております。芦屋市での運営実態としては、たしかにコミスクとスポーツクラブ21が一体となっている場合も多いのですが、県からの助成金が基金として残っているクラブがほとんどでありまして、コミスクとスポーツクラブ21の会計を一つにしてしまうと、県から受けた助成金を、目的とは異なるコミスクの地域活動に使用することにもなりかねませんので、現状では難しいかと考えています。

将来的な話として、スポーツクラブ21の基金を全て使い切ったときには、そのようなお話をしていくことも可能かとも思いますが、県との調整も必要となってくるお話だと思いますので、事務局としては、現状においては難しいと考えています。

<井原委員>

現在、スポーツ庁の総合型地域スポーツクラブという枠組みの中で、兵庫県はスポーツクラブ21という政策を行なっています。私は県のスポーツ審議会の委員をしていたのですが、スポーツ基本計画において、総合型地域スポーツクラブはスポーツにかかわらず、色々な文化的な活動も含んで良いとしています。コミスクとスポーツクラブ21の予算の整理をするのは困難だと思いますし、恐らく10年スパンで時間がかかるのではないかと思います。10年経つとかなり環境の変化が起こってくると思うので、それを考慮すると、もう少し早い段階、この2、3年くらいのスパンで融合策を練っても良いのではないかと思います。

<事務局：小山>

県の考え方として、スポーツ以外のところにお金を使うことを認める方向であることを私が存じ上げなくて申し訳ございませんでした。スポーツクラブ21関係の所管のスポーツ推進課が関係しているということもありまして、市の内部の調整もしていきながら進めていきたいと思っております。

<今西議長>

スポーツクラブ21というのは兵庫県の政策ですが、その背景には国の総合型地域スポーツクラブの考え方がございます。国の総合型地域スポーツクラブの考え方は、地域でスポーツ活動を実施することは勿論、例えば宿題をやる、英会話を習う等の学習活動、住民の方々の日頃のコミュニティ活動、あるいは教養を高めて能力の高い市民をつくる活動等もすべて包括されているものです。ですから、県がそれに近いことを考えている

とするのならば、井原委員のご指摘ははずれたものではないと思います。ただ、現状ではなかなか難しい面もありますので、今後の検討課題としてこれから勉強していきましょう。

<井原委員>

そうですね。

<今西議長>

それでは、この12団体に対し交付を認めるということによろしいでしょうか。

—異議なし—

<今西議長>

続きまして、議題（3）に移ります。

会議の冒頭に事務局から説明がありましたとおり、補助金の審査に入りますので、3分の2以上多数により非公開の決定をいただければ、ここからは会議を非公開としたいと思います、いかがでしょうか。

—異議なし—

<今西議長>

では、ここからの会議は非公開といたします。

—会議非公開—

—会議公開—

<今西議長>

それでは、議題4「今後の日程について」事務局から説明をお願いします。

<事務局：小山>

【資料をもとに説明】

<事務局：田中>

閉会のあいさつ

<閉会>

以 上